



緊急引き渡し訓練

6月3日(火)北方町一斉緊急引き渡し訓練が行われました。大震災が起きたという想定でお子さんを引き渡しました。保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげで大きな混乱もなく終えることができました。ありがとうございました。

しかしながら、本当に大震災が起きると、道路は寸断され、電柱は倒れ車の移動は困難になります。電話もかかりにくくなるかもしれません。

こうしたことから、こども園では、訓練のようにうまくいかないことを想定し、月に一度、様々な訓練を行っております。大切なことは「自分の命は自分で守る」という気持ちをもって、保育教諭の指示のもと、安全に行動することをどの子にも体得させていきたいと考えております。

訓練終了後、本巣消防署の方を招き、救命救急講習会(心肺蘇生法)を全職員で行いました。災害に関わらず、緊急の場合、自ら命を救う行動を取ることを目的に練習しました。子どもの命を預かっているという責任の重さをあらためて認識しました。また、後日、保護者会主催(家庭教育学級)による救命救急講習会を開催し、多くの保護者が参加しました。講習会を通して、命の重みを再認識されていました。

時計に興味をもつきっかけづくり

6月10日は時の記念日。北方町は時の太鼓の日でした。こうしたこともあり、年長児は、あき箱を使って時計づくりを行いました。作品には、一生懸命自分で描いた針と数字がありました。生活の中で何気なく見ている教室の掛け時計ですが、子ども達はじっくり眺めて様々なことに気付いたようです。それを作品に生かしていました。同時に、数への関心・感覚を高めることにもなりました。

完成後、一人一人にがんばったことや工夫したことを話す場を設け、自分の思いを友達に伝えていました。少しずつですが、表現力も育ってきました。

これからも遊びを通して、就学につながる取組を取り入れてまいります。家庭においてお子さんが時計に興味を示した時は、話題にしていれば幸いです。

給食参観ありがとうございました

6月24日(火)全園児を対象に給食の様子を参観していただきました。「家では嫌いなものを食べないのに、園では食べていたのでびっくりしました。」「おかわりをするようになってうれしい。」「好き嫌いなく食べる子が多いですね。」など、驚かれた保護者の方が多かったようです。

子ども達にとって給食は楽しい時間です。本園では、苦手な食べ物が出た時、無理はさせません。その子が求める量を提供し、励ましながら支援しています。お子さんが苦手な食べ物を食べた時は、お伝えしますので、ご家庭でも褒めてあげてください。好き嫌いなく食べられるお子さんにしたいですね。



確実な引き渡しをする担任



人形を使い心肺蘇生に取り組む職員



年長児が制作した自慢の時計



ぼくは時計の針と数をがんばって描きました。

